

「家族のそばで働ける！」

家族の絆で美味しいイチゴを作る新規就農者

川勝大作さん・真理さん【就農5年目】



Interview

◇就農のきっかけ

川勝大作さんは板金工場で働いていましたが、20代半ば頃「自営業をしたい」と考えていた際、友人のJA職員から聞いたイチゴ農家に魅力を感じたそうです。

ちょうどその頃、配偶者の真理さんが難病を患ったため、いつも目の届く所で一緒に働くことができ、子ども達と接する時間も増えることが農業に参入する決め手となり、地元に戻って就農されました。

◇久留米を選んでよかった点

大作さんの地元であり慣れ親しんだ土地ですが、家族で生活することで、改めて住みやすい所だと実感されています。

生活面では、真理さんの体調面もあるので医療機関が充実しており、美味しい食べ物が沢山あるのが良い点です。また、伝統ある楽しい行事も多く、地域の皆さんの人柄が良いのも魅力だと話されました。

また、農業に関しては、久留米は栽培に適した環境であり農業が盛んなので、相談したい時も先輩農家やJA、市役所など沢山の相談先があるので安心だそうです。

◇農業への思い、姿勢、こだわり

毎年気候が違うため、その年にあった栽培方法に取り組まれています。

イチゴの株の状態や温度、日射量、二酸化炭素濃度などのデータは常に記録し、状況にあった管理を想定して行い、大きくて美味しいイチゴになるよう心掛けています。しかし、就農当初は夜中の作業が続き、イチゴの手入れが上手くできなかったため、良いイチゴができなかったことが辛かったと言うことです。

そのような経験をしましたが、最近自分のイチゴを食べた方から、「美味しい」と直接言われることもあり、それが何よりうれしいと話していただきました。

◇今後の目標

現在、JAみづまの青年部でイチゴの宣伝活動やイベントに参加しており、今後も、多くの方にイチゴを食べてもらい、誰からも「美味しい」と言われるイチゴ作りをするため、規模拡大を検討していると語られました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

農業を始めるなら久留米が良いと思いますし、辛いこともあるけれど、楽しいことの方が多いと思っています。

イチゴは愛情もって育てると、それにちゃんと答えてくれるのが農業の魅力と思っていますので皆さんも頑張ってくださいと応援の言葉をいただきました。



経営面積／20アール
生産作物／イチゴ
労働力構成／本人、配偶者

